

電力柱共架アーム

品番	タイプ	表面処理	適合器具		適合バンド	
NYD7100	角度固定 タイプ	溶融亜鉛 メッキ仕上	NYR10161LF9 NYR10166LF9 NYR10151LF9 NYR10156LF9 NYR10142LF9 NYR10131LF9 NYR10136LF9 NYR10121LF9	NNY27841ZLF9	NNY27947KLF9	YK22821 (2本)
				NNY27845ZLF9	NNY27949KLF9	
				NNY27847ZLF9	NNY27957KLF9	
				NNY27849ZLF9	NNY27959KLF9	
				NNY27853ZLF9	NNY27967KLF9	
				NNY27857ZLF9	NNY27969KLF9	
				NNY27859ZLF9	NNY27987KLF9	
				NNY27863ZLF9	NNY27873ZLF9	
				NNY27867ZLF9	NNY27877ZLF9	
		NNY27869ZLF9	NNY27879ZLF9			
		NNY27887ZLF9	NNY27977KLF9			
NYD7101	角度可変 タイプ					

・器具の施工には、電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明 工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- 施工は施工説明にしたがい、確実にこなう。
施工に不備があると発火・感電・落下・アーム折れの原因となります。
- 取付する器具の接地端子を使用して接地工事（D種設置工事）を確実にこなう。
接続に不備があると感電の原因となります。【電気設備技術基準】
- 電力柱共架アームの改造や適合照明器具以外のものの取付けは、絶対に行なわない。
発火・感電・落下・アーム折れの原因となります。
- 振動や衝撃の多い場所（橋や高架上等）、腐食性ガスの発生する場所、海岸隣接地域では使用しない。
発火・感電・落下・アーム折れの原因となります。
- コンクリートポール及び基礎は事前に取付ける灯具を確認の上、十分な強度を有するものを用意です。
強度が不十分な場合は、ポール転倒の原因となります。

注意

- この電力柱共架アームは一般屋外用です。それ以外の場所では使用できません。
発火・感電・落下の原因となります。
- 60m/s仕様です。これ以上の風速の影響を受ける場所では使用しないでください。
器具落下・アーム折れの原因となります。
- この商品はテーパータイプのコンクリートポール専用です。
これ以外のポールへの取付けは落下の原因となります。
- 電力柱共架アームは地上から4.5mより高い位置に設置してください。
- 電力柱共架アームは必ず矢印が上になるように垂直に取付けてください。
これ以外の取付けは絶縁不良による感電および腐食による落下・アーム折れの原因となります。
- 電力柱共架アームの取扱いは必ず2人以上で行なってください。
事故の原因となります。
- 電力柱共架アームの取付・取外しは手袋など保護具を使用してください。
怪我のおそれがあります。

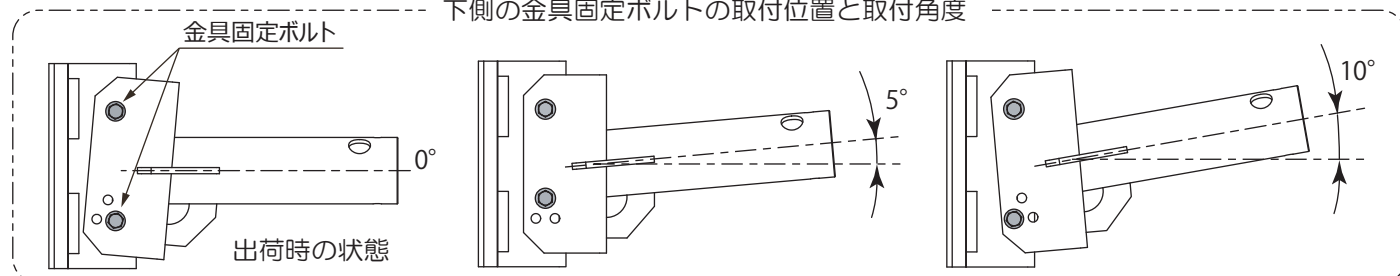
1. 取付角度を変更する（角度可変タイプのみ、変更が必要な場合：出荷時は0°）

- ・下側の金具固定ボルト2本を取り外してください。
 - ・上側の金具固定ボルト2本を緩め、下図のようにアームの角度を変更し、下側の金具固定ボルト2本を確実に締め付けてください。（推奨締め付トルク：3.5N・m）
- ボルトの締め付けが不十分な場合は落下の原因となります。

注意

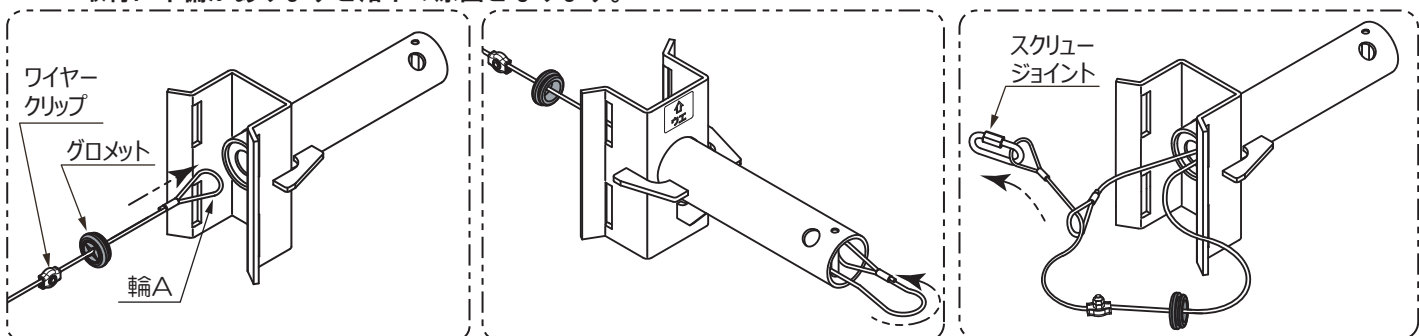
電力柱共架アームの取り付けは手袋などの保護具を使用してください。
けがの恐れがあります。

下側の金具固定ボルトの取付位置と取付角度



2. アームに落下防止ワイヤーを取付ける

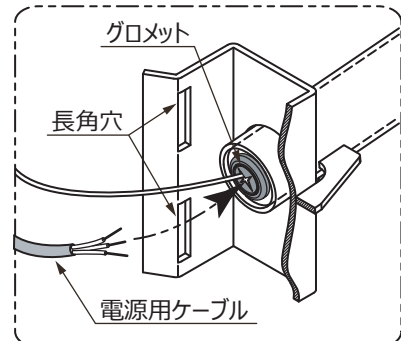
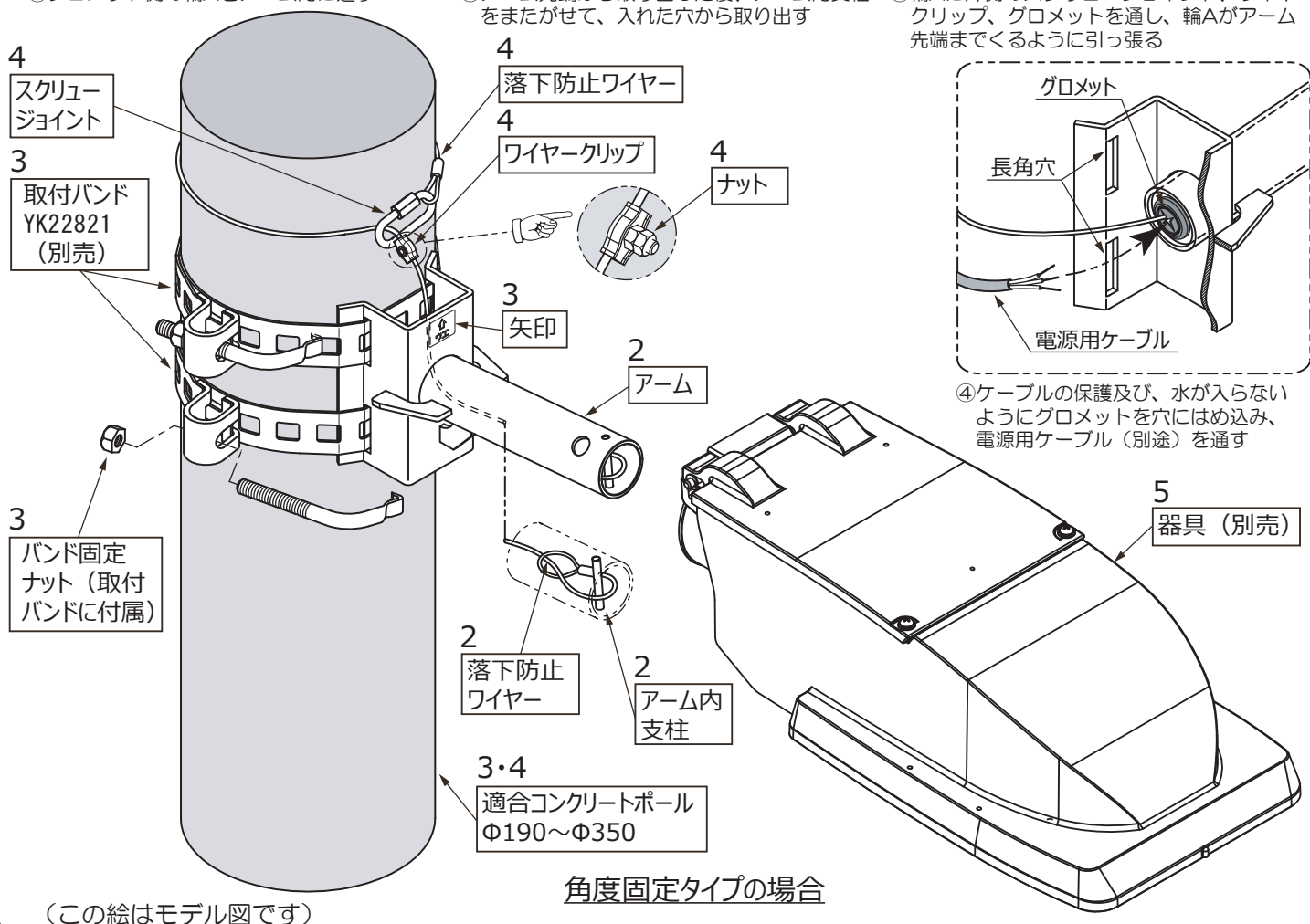
- ・落下防止ワイヤーを下図のように取付けてグロメットをはめ込み、電源用ケーブル（別途）を通してください。
- 取付に不備がありますと落下の原因となります。



①グロメット側の輪Aをアーム内に通す

②アーム先端から取り出した後、アーム内支柱をまたがせて、入れた穴から取り出す

③輪Aに片側のスクリージョイント、ワイヤークリップ、グロメットを通し、輪Aがアーム先端までくるように引っ張る



④ケーブルの保護及び、水が入らないようにグロメットを穴にはめ込み、電源用ケーブル（別途）を通す

角度固定タイプの場合

（この絵はモデル図です）

3. 取付バンド（別売）2本にてコンクリートポールに固定する

- ・電力柱共架アームの矢印が上になるように取付けてください。
- ・適合コンクリートポール：φ190～φ350
- ・電力柱共架アームの上下の長角穴にそれぞれ取付バンドを通し、バンド固定ナットにて取付バンドを確実に締め付けてください。（推奨締め付トルク：50N・m、工具の柄の長さ：250mm程度）
取付バンドの締め付けが不十分な場合は落下の原因となります。

4. 落下防止ワイヤーをコンクリートポールに固定する

- ・落下防止ワイヤーをコンクリートポールに一周巻き、スクリージョイントのナットを緩めて下図のようにスクリージョイントに落下防止ワイヤーを通した後、ナットを締めて確実に取付けてください。
取付に不備がありますと落下の原因となります。
- ・ワイヤークリップのナットを緩めてスクリージョイントまで滑らせ、ダブルナットにて確実に締め付けてください。（推奨締め付トルク：2.1N・m）
ナットの締め付けが不十分な場合は落下の原因となります。

5. 器具（別売）をアームに取り付け、固定する

- ・取付方法は器具の取扱説明書をご参照ください。

6. 電源用ケーブルの結線を行なう

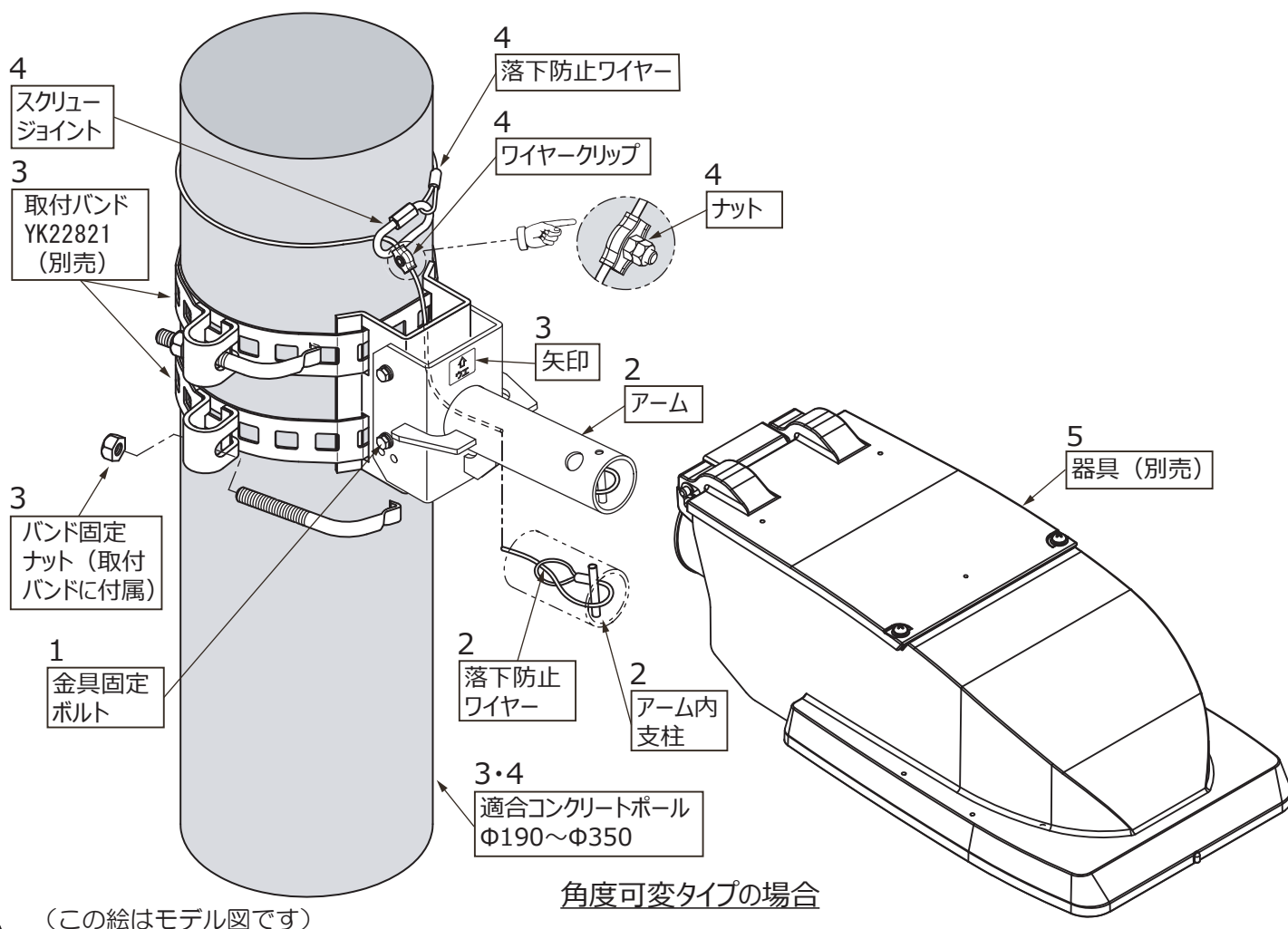
- ・詳細は器具（別売）の取扱説明書をご参照ください。



注意

器具の取り付けは手袋などの保護具を使用してください。
けがの恐れがあります。

※器具の取付けについては、器具の取扱説明書をご確認ください。



・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意 **警告**

- 電力柱共架アームを改造しない。落下・アーム折れの原因となります。
- 電力柱共架アームを故意に揺すったり、上に登ったり、ぶら下がったりすることは絶対に行なわない。アーム折れ・落下事故の原因となります。
- 電力柱共架アームに衝撃を加えたりすることは絶対に行なわない。落下・アーム折れの原因となります。
- 万一、メッキがはげたり電力柱共架アームの腐食が著しいなどの異常状態のままで使用しない。落下・アーム折れの原因となります。すぐに工事店に修理を依頼してください。

 注意

- 電力柱共架アーム内への配線工事は、必ず工事店・電気店（有資格者）に依頼してください。一般の方の施工は、法律で禁止されています。
- お手入れの際は、器具の取扱説明書の指示にしたがってください。感電・火傷・器具落下等の原因となります。
- 本商品には寿命があります。使用環境によるストレスにより腐食や金属疲労等の劣化は進行しています。点検・補修・交換してください。
 - ・塩害地域、植栽の中に設置の場合などは寿命が短くなります。
 - ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検をしてください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けるとまれに折れ・落下などに至る場合があります。

保証について

- | | |
|----------------|---|
| 1：保証について | この商品の保証期間は1年間です。但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。 |
| 2：保証書について | 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。 |
| 3：補修用性能部品の保有期間 | 弊社はこのアームの補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。 |